

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名 ハッピーテラス富田教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	該当なし	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	利用定員が最大になると狭さは感じるが、遊びや作業の内容によって分散できるように声をかけスペースが狭く感じないよう声をかけている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	お迎えの送迎や児童発達トレーニングの時にスタッフが手薄になってしまう時があるが、スタッフ間で情報の共有や連携、声掛けをしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%		ドアの境目、トイレ、洗面台など小上がりはなく、段差が少ないが、玄関口の個室に入る際の入り口に段差があるので必要に応じてスタッフで対応していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	教室での会議の時に確認し事務所の見える所に表示している。	職員の取り組みやすさや業務効率化を踏まえたやり方の改善が必要なため、今後も社内の議題にあげていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83.3%	0.0%	16.7%	0.0%	毎週会議、月1回研修の場を確保している。	研修の頻度を多くしたいが多業務の為時間の確保が必要。今後の課題にしていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	スタッフ一同、意見を出し合い決めています。例、水曜日の工作・長期休暇のトレーニング内容など利用者様が楽しめるように、取り組み方、教室での過ごし方が手持無沙汰にならないように工夫している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%		
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	振り返りをして、そのときに出た課題を次回にいかすようにしている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	その日あったことは必ずその場で、できない場合は帰りの振り返り時に必ず情報共有をしている。また、支援について普段のスタッフとの会話の中で飛び交い、改善へと繋げている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	学校だけでなく保護者様を通して下校時刻など共有させてもらっている。	ハッピーテラス大矢知教室と協力してお迎えに行っているが、ハッピーテラス大矢知教室に依頼をお願いした生徒を忘れてしまうことがあり学校から連絡がかかってくるのが何度もあった。両教室での情報共有の仕方を再度検討し改善していく。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%		・かかりつけ医の連絡先はどの生徒も緊急連絡先に記入してもらっている。特に注意が必要な生徒には、保護者様と連携を取り、何かあれば①母②父の順にすぐ連絡してもらって構わないと承諾を得ている。その為、急を要するときはすぐに対応できるような状態をとっている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		保護者懇親会を実施して、その際に情報共有や提供をしました。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%		四日市市の療育部会の研修には積極的に参加しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%		学校に声を掛けてみる、近くにそのような場所があるのか調べ、チラシなど郵送してみるなどしていきたい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		お迎え時に保護者の方に様子を話しながら、課題やできている点を話し共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	16.7%	50.0%	33.3%	0.0%		・研修に参加したスタッフが情報を共有し、できる範囲でハッピーテラスのやり方と繋がるどころ、活かせるところは行っていきたい。 ・面談時やお迎え時などを利用して伝えていくようにしたい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%		
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%		
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		苦情受付記録をもとに迅速かつ適切な対応を心がけています。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		毎月のハッピー通信やInstagramを活用しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%		コロナ禍のため難しいが、状況が落ち着いたらそのような行事を行えるのであれば考えてスタッフ間で意見を出し合い取り組んでいきたい。
非常時等の対応	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		玄関口に掲載している。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%		現在、ご利用されているご利用様には身体拘束が必要な方はおりませんが、スタッフ間で情報共有し、統一している。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%		
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。